

共産主義

リベラシオン社
月刊
定価 100 円

1959・6・1 巻 中 号 三

革命的前衛隊の確立のために
戦闘的労働者は共産主義者同盟に結束せよ
左翼反対派と新しい前衛隊
佐久間 元

教育労働者の進むべき道
——日教組大会の真意——
井上 奥

「労働の質と量」
——「六月五日のトロツキスト批判」をめぐっての批判
加藤 明男

「疎外論の探究」
——どのような概念か？——
森 茂

心仁び花田・吉本論等について
九井 喬

現代マルクス主義者の古典的性格
——不徹底性の批判——
南川 敏

民主主義的言辭による資本主義への運動
——国共合作資本主義批判——
おける改進黨主義批判——
塚岡 幸治

志免斗争の勝利のめりは志免の斗争を現地に於て徹底的に闘い抜くこと、そしてそれを全国斗争とし、中央で民権松下げ阻止の闘争を行なうこと、ただこれ以外にはない。前者は今日すでに果たされている。ただ後者のめりが由難だ。

(四)

六月六日の志免の斗争は、我が同盟が志免の活動家諸君に大きく影響を与えられたことは、すでに多くの諸君が知っている。同盟北九州委の革命的な方針の提起と献身的な活動が、多くの志免の活動家をたどらせたことが、青山調査団阻止の体例と、選挙「斗争」の「体制」の中から急速に作り出したのであった。

今、現任の瞬間に於ても、同盟は、そして、社青同の福岡県委の諸君は、志免に泊り込み、連日、橋野を把握し、宣伝、煽動を行ない、北九州の各所組に、とりわけ回防には全分会に、志免支援隊のピラを何回も入れている。

現任、志免斗争が一つの社会問題として言をひきはじめ、全国の労働者の前に、志免労働者の英雄的な闘いが知られはじめているとき、全同盟員は、志免斗争の支援行動を全面的に、全力をあげて闘い抜くべきではない。

国勢に不利する、国勢の全分会に不利して、とりわけ国勢の拠点全分会に不利して、志免斗争支援隊をあらゆる型で行うことを断念せよ。

そして「志免斗争を全国斗争によって支援せよ」「どの現場の合理化とも無関係に闘う方針を出せ」という要求を国勢の内部にまきおこせ。

★ 志免の合理化計画、只向を下げれば阻止！
★ 志免斗争を全国斗争で支援せよ！
★ 合理化反対の全国斗争を支援せよ！
★ 志免の不当処分を「回せよ」！ 官廳の連任反対！ 国交拒否、組合連任反対！
青山調査団解散！ 軍任と殺人と汚職の十河を「メンセよ」！

★ 資本家政府をぶっ壊せ！
これらのスローガンを国勢のむかに持ちこみ、同時に、野々山の六日の裏切り案を粉砕した手懸にせよ。

★ 志免の中央団交には現地志免の代表を加えろ！
★ 志免同盟討議の中斗には志免代表を加えよ！
★ 北九州のわが同志の示したスローガンを全国的に持ちこめ！

学生同盟員は、学生自治会、社青同においても、志免斗争を宣伝し、国勢に大衆的によびかけよ！ (社青労働者のボスターを利用して、国勢中斗から資料を送らせよ！)

★ 志免斗争のなかで志免支援隊を送らせよ！
労働者同盟員は、現場で志免同盟を宣伝せよ！
カンパを訴え、激電、よびかけを送れ！
組合仲間を激電をとりあげせよ！
独立して、かっける志免の兄弟には、一通の激電、一通のよびかけ、一袋のカンパが、この上ない激電であり、そしてそれこそが同盟の影響力の拡大の道であることをわきまませよ。

志免斗争を合理化反対斗争の突破口とせよ！
志免斗争の性質に立ち革命的労働者のわが同盟への結束を飛躍的に拡大せよ！

論議 国勢中斗の録音、野々山が志免にかけかけて、志免の労働者に調査団入坑を認めさせようとしたとき、彼らは志免の時切者の激しい返答をうけ、調査団入坑に強硬な条件を付けざるを得なくなった。このため十河は調査を中止して引揚げていったのだ。しかるに中斗は東京府、また、各所組に認めさせ、そのうえで十三日の当分の団交で「円満公正」な調査を行うことに一致した(各所組の激電)。

調査団再派遣とともに国勢中斗に対する労働者の怒りは、ますます高まるであろう。われわれは国勢中斗に対する激電を、一袋送らなければならぬ。

シオン・トロツキ著 資本主義の死の苦悶と

オ田インターナショナルの任務
——過渡的細領——
解説付 五〇円

発行所 リベラシオン社
東京都練馬区豊玉五五ノハ
振替・東京 三七〇九九

戦線理論

学生運動——それはなににか？
——新に学生運動に参加する同志へ

「ドイツ・ソエオロギー」とマルクシズムの生誕
岸本 健一

戸坂 出

大瀬 振

保守改定反対斗争と学生運動
激動・革命・共産主義(2)
——今日の階級斗争の諸問題——アララ行方
大瀬 振

戦後日本学生社会運動史ノート I
坂岡 幸治

藤谷 信雄